

楷

第五十五号

岡山大学
附属図書館報
OKAYAMA UNIVERSITY
LIBRARY BULLETIN

KAI
No.55
2012
OCTOBER

<写真>
わたりかに
海辺ニ生ス甲ノ
大サ五寸許可食



「備前国備中国之内領内産物絵図帳」（岡山大学附属図書館所蔵池田家文庫より）

— 目 次 —

- 大学図書館の活用を考える（鹿田分館長 谷垣静子）…………… p.2
- Open Repositories 2012 参加報告（基盤グループ 大園隼彦）…………… p.4
- グッドジョブ支援センターの職員が働いています！
（岡山大学グッドジョブ支援センターサブリーダー 大塚恵）…………… p.6
- iPad2 貸出サービス開始（学術情報サービス課）…………… p.8
- マスカット ……………… p.9
池田家文庫絵図展のお知らせ、資源植物科学研究所分館第七回貴重書企画展示「癒しと植物」、オープンキャンパス実施報告 ほか
- 会議・研修・編集委員会から ……………… p.16

大学図書館の活用を考える

谷 垣 静 子

【はじめに】

先週、わが家に iPad が届きました。私のこれまでの生活を考えれば、iPad のある生活はハイテクな感じがします。わが家にはネット環境がありません。スマートホンも使ったことがありません。至ってシンプルな生活をしています。では、何故 iPad を買ったかという、電子書籍を活用してみたいと思ったからです。iPad があれば、ハードカバーの重たい本を持つ必要はありません。さらに手軽にどこでも好きな本が読めます。歳とともに、小さな文字が読みづらく、文庫本からも遠ざかっていた私にとって、読書を身近で楽しめる可能性が広がったのです。近年では、iPad のなかに、自分の本棚を作ることができるサービスが始まったそうです。家の本棚が本であふれる心配をしなくてもよい時代がきたのです。

書籍の電子化は、わざわざ本屋や図書館に行かなくても、本が手に入る時代が到来したことになります。こうなると図書館の存在意義とは何だろうと考えてしまいました。そこで、私なりに考えてみることにします。そして、教育・研究に携わる者として図書活用について考えてみることにしました。

【図書館の存在意義】

私は、小学生の頃、よく図書室に通っていました。図書室には、ギリシャ神話、偉大な人物の伝記、小説など様々な本が置いてありました。これらの本を読むことで、生活経験を越えた時空間の世界に入り込むことができ、様々な想像の世界を旅することができました。そんな私の将来の夢は、小説家になることでした。何度か雑誌に投稿をしたことを覚えています。しかし、その夢は、自分の才能のなさを知ることで諦めました。そして、高校・大学時代には、図書館を利用して、「自己」「生きる」などの哲学書や心理学関連の本を読みあさり、「こころ」という内側の世界、思考という限らない世界に浸っていました。こうして考えると、学校図書館法に明記してありますが、図書室（館）は、児童生徒の知的活動を増進し、人間形成や情操を養う上で、重要な役割を担っていると思います。

しかし、近年、生活環境の変化や様々なメディアの発達・普及に伴い、学生の「読書離れ」「活字離れ」が指摘されています。携帯電話などの新しいメディアが登場し、それに時間とお金をかけるようになった結果、読書の機会やその比重が減ったと考えられます。本を読むか読まないかの選択は、大人の場合は本人が決めることですが、学生の読書習慣に関しては、教育のあり方に課題があると思われれます。教育・研究者となった現在、そのことを強く感じます。

【図書の活用】

私が教えている学生は、そのほとんどが保健・医療従事者となります。保健・医療従事者の必須な要素として、人の思いに添える、あるいは人の思いをくみ取れる感性が求められます。このような感性を育む一つの方策として、本を活用することは有意義だと考えます。

私は授業の中でよく本を紹介します。専門書だけでなく、一般書や絵本を紹介します。例え

ば、ハンセン病患者の治療に生涯を捧げた神谷美恵子の『人間をみつめて』や金子みすずの詩などです。人の痛みや苦しみをケアする仕事は、その人の痛みや苦しみを感じとれる感性が必要となります。しかし、実際、その思いを感じ取ることは大変難しいことです。人への関心がないところに、このような思いは始まらないのですが、せめて、本を読むことで、少しでもその思いを感じ取ってくれたらと願っています。本を読む行為を通して、目の前に実際存在しないものやことがらを、あたかも存在するかのように自分の中でイメージして描き出して、何が書かれているかを理解して欲しいと思います。学生の感性に訴えかける手段として、今後も本の紹介を続けていきたいと考えます。

また、図書の活用を促す演習を組み入れています。演習の取り組みは、学生1人でもグループでも可としています。そして、学生の演習時間として2コマ当てています。図書館に行って、本を調べるもよし、インターネットで検索するもよしとしています。図書館が試験勉強の場だけではなく、レポート作成を促進する場、意見を交わす場となればよいと考えます。グループの学習は、是非、学生時代に多く経験して欲しいと願います。なぜなら、学生時代に議論を交わすことは、「知」を紡ぎ出すことになるからです。その為のグループ学習室が設けられているのですから、学生に活用するよう促したいと思います。

この他、卒業研究の取り組みでは、図書館利用は欠かせないものとなっています。研究の第一歩は、日頃の気づきや疑問から始まります。しかし、その気づきや疑問について、手持ちの体験や知識だけで片付けてしまうことは、危険なことです。そこで重要になるのが文献検索・文献検討です。研究の着手は、研究テーマに沿いながら、検索システムを効率的に使うことです。そして、入念に文献を読むことが大切となります。その過程で、研究課題が絞られていくことを学生は学びます。学生の時代に、研究手法を学ぶことや研究態度を身につけることは、今後の社会活動にも大きく影響するものと考えます。学生は、端的な答えを求めようとしませんが、数多くの文献を読むことが、学問を深めることに繋がることに気がついていきます。

【研究者にとっての図書館】

研究者にとって図書よりもさらに大切なものは雑誌（電子ジャーナル）です。それぞれの研究分野において、現在どのような知見が得られているのか、さらに今後どのような研究に意義があるのか、その動向を知るため文献を読むことは欠かせません。私自身の研究分野は、学際的な内容が含まれるため、適切な文献を入手するスキルが非常に重要となってきます。その点、まだ、自分の持ち合わせの知識に頼っているところがあり、図書館員の協力を得る必要があると感じています。

【おわりに】

学術情報の電子的な流通革命が進むと、従来の図書館が果たしてきた役割が他によって代替されてしまう可能性があります。情報化への対応は、待ったなしの状況です。一方、これまでの古典籍資料や歴史書等の保存も欠かせなく、図書館に課せられている課題はたくさんあるように思います。しかし、大学図書館の役割は、大学における教育・研究活動の支援であることは間違いないと思います。知を創造する場としての図書館であるよう、教育・研究者の立場から、今後も取り組んでいきたいと思います。

(たにがき・しずこ 鹿田分館長)

Open Repositories 2012 参加報告

大園 隼彦

「機関リポジトリとは、研究機関がその知的生産物を電子的形態で集積し保存・公開するために設置する電子アーカイブシステムである。」

「機関リポジトリ」は Wikipedia でこのように定義されている。*1



エジンバラ城から眺めた市街の風景

国立情報学研究所と Digital Repository Federation (国内の機関リポジトリ運営機関のコミュニティ、DRF) から Open Repositories 2012 (OR2012) に参加する機会をいただいた。OR2012 は機関リポジトリの開発、運用に携わる関係者が集まる国際会議で、7月9日 - 13日にエジンバラ大学で開催され、40カ国から約500名の参加者が集まった。私は、DRFの活動を紹介するポスター発表と、機関リポジトリの国際動向調査を目的

に参加した。ここでは、紙面の都合上、OR2012における機関リポジトリの国際動向を中心に紹介する。DRFのポスター発表についてはこちらを参照していただきたい。*2

OR2012のコンセプトは、”Open Service for Open Contents : Local in for Global Out”であり、そのキーワードは「オープンコンテンツ」、「拡張コンテンツ」、「分散型システム」、「情報発信基盤」であった。OR2012に参加して国内との違いを特に実感した点は①「知的生産物」の範囲が広いこと、②管理の意識がより高いこと、③システム開発のコミュニティが活発であることだった。

例えば、①について、「知的生産物」の範囲には「研究データ」が含まれており、その保存と再利用についての実践が既に始まっている。また、ソーシャルメディアの大規模データをリポジトリに取り込む事例が紹介されていたのも印象的であった。②については、海外では CRIS (Current Research Information System) で研究情報を管理することが多いが、機関リポジトリと CRIS が連携しており、両者のコンテンツを同時に登録できるなど、研究者の負担の少ない構成となっていることが多い。CRIS で研究者情報管理、機関リポジトリで成果コンテンツの管理、データリポジトリで研究データを管理した上で、それらが連携し統合検索できる事例も紹介された。このような連携を漏れなく実現するにはコンテンツの収集に加えて管理情報を充実させることが求められ、今後は Digital Object Identifier (DOI) 等の一意の識別子を付与することが重要になるだろう。③については、Developers' Challenge という、リポジトリ開発者がリポジトリ

システムの新機能を競うイベントがあり、多数の参加者がアイデアや開発したソフトウェアを披露し、大いに盛り上がった。開発コミュニティが活発であるが故にこのようなイベントが成り立ち、それがさらに今後のシステムの開発にも繋がっていくのだろう。

OR2012 の詳細については LiveBlog、Youtube 等で確認ができる。詳細はそちらを参照していただきたい。*3



コーヒーブレイク中も情報交換が活発

さて、冒頭の機関リポジトリの定義に戻ろう。機関リポジトリのサービスは、「知的生産物を電子的形態で集積し保存・公開する」ことであり、機関内で生産された研究成果の保存・公開を中心に取り組んでいる国内の状況をよく表していると思われる。今後は、ここに「管理」も付け加えた方がより良いと思われる（もちろん既に国内でも業績管理データベースとの連携、コンテンツや著者情報に永続識別子を付与する等、管理の意識の高い機関は存在する）。OR2012 では「interoperability（相互運用性）」という単語をしばしば耳にした。岡山大学においても、既に機関リポジトリは研究者データベースと連携している。しかし、双方のコンテンツの管理方法や研究者・利用者へのサービスの提供方法についてはまだまだ改善する必要があるように思われる。例えば機関リポジトリは、公開サービスを重点的に行っているが、今後はそれに加えて、著者やコンテンツに一意の識別子を付与するなど管理情報を充実させ、Web における利用動向調査の精度を向上させることで機関の研究教育活動の分析に利用することも可能となるかもしれない。今後、機関リポジトリや研究者データベース等を運用している関連部局は一層協力して情報管理することが重要になってくるだろう。機関リポジトリのサービスを発展させるにはコンテンツの充実が重要であり、研究者へのサービスをもっと意識し、進んでコンテンツを登録したくなるようなシステムを目指して今後の運用を考える必要があると思う。

参考

1. 「機関リポジトリ」『フリー百科事典 ウィキペディア日本語版』(<http://ja.wikipedia.org/>)。2012年9月26日15時（日本時間）現在での最新版を取得。
2. <http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?Papers%20and%20Talks>
3. LiveBlog: <http://or2012.ed.ac.uk/category/liveblog/>
Youtube: <http://www.youtube.com/user/OpenRepos2012>

(おおぞの・はやひこ 基盤グループ)

グッドジョブ支援センターの 職員が働いています！

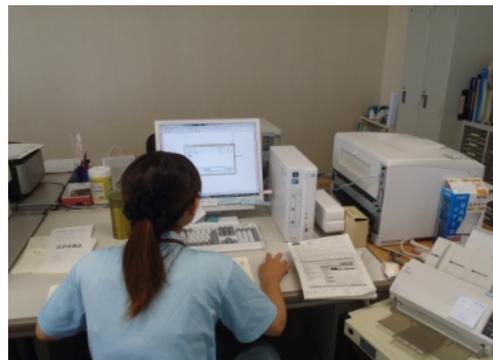
大塚 恵

岡山大学では、障がい者雇用促進の施策の一環として、平成21年4月にグッドジョブ支援センターが設立されました。図書館内の各フロアには、グッドジョブ支援センターのポスターが貼ってあるので、グッドジョブ支援センターの職員が館内で作業していることを既にご存知の方も多いと思いますが、図書館では、グッドジョブ支援センター設立以前から、障がい者雇用に協力していただいています。

当初は配架（返却された資料を本棚に返す作業）と装備（新しく届いた資料を図書館で利用できるようにするためにラベルやバーコード等を貼る作業）担当に1名の配置でした。現在では、配架と装備担当に3名、PC入力（遡及等）担当に3名、館内清掃（トイレ）担当に3名、支援員2名の合計11名がお世話になっています。

また、グッドジョブ支援センターでは、各学部と本部間の書類等を送達する文書集配業務をしています。その中で、図書の学内配送を行っています。中央図書館と鹿田分館間の配送もしています。また、外作業中心の環境整備班は図書館周辺の草刈り及び清掃を定期的に行っていますが、雨等で外作業ができない日には、図書館の書架の清掃や整理をすることがあります。また、配布物のナンバリングや線引きなど簡単な事務作業のお手伝いや、パソコンコーナーやアメニティコーナーに置いてある消しゴムかす入れも私たちが作っています。





グッドジョブ支援センターのスローガン「できることを、できるかたちで、できるかぎり」をモットーに、各部署グループの垣根を越えて様々な作業のお手伝いをしています。これからも、館内での私たちの活躍を見守っていただけたら幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

岡山大学ダイバーシティ推進本部のホームページ、障がい者雇用推進室でグッドジョブ支援センターの紹介をしています。ぜひご覧ください。

URL : <http://www.okayama-u.ac.jp/user/jinji/diversity/handicap/index.html>

(おおつか・めぐみ 岡山大学グッドジョブ支援センター サブリーダー)

iPad2 貸出サービス開始

学術情報サービス課

中央図書館では今年の6月18日よりiPad2の館内貸出サービスを開始いたしました。

- 【対 象】 岡山大学に所属している学生、教員、職員
- 【利用時間】 平日 9:00-16:30（当日中にご返却ください。）
- 【利用範囲】 中央図書館内
- 【台 数】 5台（貸出状況は蔵書検索にて確認できます。）
- 【貸出方法】 学生証や職員証、ライブラリーカードを持って貸出カウンターにお越しください。

【搭載アプリ等】

- ・ Viewer : goodreader、Puffin、Qrafter、Byline ・クラウド : Evernote、Dropbox
- ・ 写真共有 : BestAlbum Picasa、FlickStackr ・辞書・事典 : e 六法、翻訳
- ・ 電子書籍リーダー : i 文庫 HD、iBooks ・ニュース : France24、BBC NEWS、Flipboard
- ・ 文献検索 : 論文検索、Librarian、RSC Mobile ・文献管理 : Mendeley
- ・ ライティング : Keynote、7notes、popplet、Note & Share、whiteboard
- ・ その他 : 電卓、Podcast (English as a Second Language Podcast、Coffee Break Spanish、Learn Chinese)

サービス開始から3カ月ほど経ちましたが、貸出を希望する方のほとんどが学生です。「どんなものか興味があったから」と利用される方もいますが、多くの方が Web 閲覧のためにネット端末として利用しているようです。グループ学習室と一緒に借りていき、仲間でグループ学習に利用したり、研究用個室をよく利用される学生の方が個人学習の補助として利用していたり、使い方はさまざまです。



ネット端末として利用したり、いろいろなアプリを学習に役立てたり、図書館で過ごされる際には是非、お気軽にお試ください。

マスカット

池田家文庫絵図展のお知らせ

毎年恒例の展示会を今年も以下のように開催します。多数の方にご覧いただき、歴史・池田家文庫に興味を持っていただければと思います。

| | |
|-------|--|
| 名 称 | 企画展 池田家文庫絵図展「日本六十余州図の世界」 |
| 会 期 | 2012年11月10日(土)～11月25日(日) [休館日] 11月12日(月)、11月19日(月) [開館時間] 午前10時～午後6時 入館は午後5時30分まで |
| 場 所 | 岡山シティミュージアム 5階展示室 (〒700-0024 岡山市北区駅元町15-1) |
| 入 場 料 | 無 料 |
| 内 容 | 池田家文庫は、江戸時代の岡山藩の行政資料を中心とした約10万点にもものぼる岡山大学附属図書館が所蔵する文庫です。その中には約3,000点の絵図があり、今回は寛永10年(1633)に徳川幕府が派遣した巡見使が収納した国絵図の模写本である「日本六十余州図」から全国の特徴ある絵図を展示します。 |

<関連行事>

開会式

日 時 2012年11月10日(土) 午前9時50分～午前10時

場 所 岡山シティミュージアム 5階ロビー

オープニングトーク

日 時 2012年11月10日(土)
午前10時～午前10時30分

場 所 岡山シティミュージアム 5階展示室

講 師 岡山大学大学院教授 倉地克直氏

備 考 予約不要

講演会「徳川家光と日本」

日 時 2012年11月18日(日)
午後2時～午後4時

場 所 岡山シティミュージアム 4階講義室

講 師 京都大学名誉教授 藤井譲治氏

備 考 予約不要(定員80名)

<主な展示資料紹介>

「日本六十余州図」及び関連資料



資源植物科学研究所分館第七回貴重書企画展示「癒しと植物」

現在、植物研分館では平成24年9月18日（火）～11月30日（金）の日程で、第七回企画展示が開催されています。

漢方やハーブなどの体に優しい植物に関する資料の展示をメインに癒しと植物について紹介します。

開催時間：9:00～17:00

（土曜・日曜・祝日は休み）

入場無料

皆さまのご来館をお待ちしております。



オープンキャンパス実施報告

平成24年8月3日（金）、4日（土）のオープンキャンパスに合わせ、附属図書館では以下の企画を実施しました。2日間で中央図書館2,479名、鹿田分館159名の高校生、保護者の方にご来館いただきました。



●中央図書館

- ・教科書展示（玄関前）
シラバスに掲載された教科書を展示しました。
- ・植物研分館所蔵貴重資料ミニ展示（新館1階新聞コーナー）
植物研分館の貴重書から「江戸・明治の朝顔」のミニ展示を実施しました。
- ・池田家文庫絵図複製展示（新館2階ロビー）
図書館で所蔵している池田家文庫から、複製を展示しました。

●鹿田分館

- ・岡大医学生・歯学生の生活と図書館（1階ロビー）
学生生活や学習活動と図書館の関わりについて展示しました。

平成24年度第1回岡山大学学生と附属図書館長との懇談会（中央図書館）

平成24年7月4日（水）に法学部、経済学部、社会文化科学研究科、法務研究科の学生15名の参加を得て、中央図書館学生館長懇談会を開催しました。施設・設備、資料、サービス、利用者のマナー、開館時間の延長などについて積極的なご要望やご提言を数多くいただきました。ご要望のあったことについては実現できることから対応させていただきます。

IC付本学職員証による時間外入館について（鹿田分館）

平成24年8月より、鹿田地区在籍の教職員でIC付の本学職員証をお持ちの方は、職員証による鹿田分館の時間外入館が可能となりました。病院職員証、IC機能のない本学職員証はご利用になれませんので、申請により、別途カードを発行します。詳細は鹿田分館カウンターにお問い合わせください。

岡山大学公開講座「池田家文庫絵図をもって岡山を歩こう パート2」実施報告

第1回「池田家文庫城下町絵図について」

講師：岡山大学大学院社会文化科学研究科 教授 倉地克直氏

日時：平成24年5月19日（土）13:00～15:00

場所：岡山県立図書館多目的ホール

参加者：60名

池田家文庫の国絵図・城下図をスクリーンに映しながらお話がありました。会場の壁には城下図などの複製を展示しました。

第2回「岡山城二の丸の重臣屋敷街跡を歩く」

講師：岡山市教育委員会文化財課 課長 乗岡実氏

日時：平成24年6月9日（土）13:00～15:00

場所：京橋西詰～林原美術館前

参加者：21名

岡山市内に残る、重臣屋敷街を歩きました。

史料館インテリジェントターミナルについて（資源植物科学研究所分館）

平成24年6月14日に大型テレビとiPad・AppleTVが納品され、史料館1階にインテリジェントターミナル（分館長命名）が出来ました。

46インチの大型テレビとiPadを、AppleTVを介して無線でつなげることで、ノートパソコンとプロジェクターの組み合わせよりも自由度の高い活用が出来るシステムになっています。プロジェクターの「周りが暗くないと見えない」「映し出すスペースが必要」という



高校見学での活用の様子

欠点もなく、iPadのタッチパネルで自由に画面表示の拡大縮小が出来、向きを変えるのも簡単です。無線+iPadの小ささにより、発表者がiPadを手で持って動けるため立つ位置を大きく変えられる（前に出る必要もない）、参加者みんながiPadを回り持ちの形で共同利用しながらグループ討論や発表が出来るというシステムになっています。高校生の図書館見学等で活躍しています。また、普段は植物研の写真や過去の展示の写真、古い記録写真などを流し、植物研の情報ターミナルとして機能しています。

新館3Fコピー機設置（中央図書館）

中央図書館では平成24年8月より新館3階にコピー機を設置いたしました。生協のプリペイドカード用で白黒コピーのみが可能です。コピー機の近くの机に、「館内複写申込書」がございますので、ご利用の際には忘れずにご記入をお願いいたします。

以前は本館と新館の1階にしかコピー機がなく、ご不便な点があったかもしれません。どうぞご利用ください。

オリエンテーション・データベース講習会実施報告

●中央図書館

中央図書館では、平成24年4月～5月にオリエンテーションを、5月～7月に各種ガイダンスとデータベース講習会を開催しました。

オリエンテーション

| 実施日 | 対象 | 参加者数 |
|------------|----------|-------|
| 4月4日～5月30日 | 新入生 | 1,455 |
| 5月11日 | 薬学部1・2年生 | 180 |
| 4月1日、4月4日 | 新任教員 | 9 |

ガイダンス

| 実施日 | 講習会名 | 参加者数 |
|------------------|-------------------------------|------|
| 5月9日、6月6日、7月11日 | 文献入手講座入門編1 | 6 |
| 6月6日、6月13日、7月11日 | 文献入手講座入門編2 | 9 |
| 4月23日 | 経済学部 福土先生ゼミ 図書館ガイダンス | 6 |
| 4月24日 | 教育学部 関川先生ゼミ 図書館ガイダンス | 3 |
| 4月26日 | 自然科学研究科先進基礎科学特別コース 文献検索講習会 | 23 |
| 5月1日 | 教育学部浮田先生授業文献検索ガイダンス | 66 |

データベース講習会

| 実施日 | 講習会名 | 参加者数 |
|-------|----------------------|------|
| 6月14日 | Biological Abstracts | 15 |
| 6月14日 | Econlit | 2 |
| 6月18日 | Web of Science | 46 |

●鹿田分館

鹿田分館では、平成24年4月にオリエンテーションを、5月～7月にデータベース講習会を開催し、延べ525名の方にご参加いただきました。

オリエンテーション

| 実施日 | 対象 | 参加者数 |
|------------|----------|------|
| 4月1日～4月10日 | 新入生 | 381 |
| 4月12日 | 院医歯薬博士 | 25 |
| 4月20日 | 保育成プログラム | 21 |

データベース講習会

| 実施日 | 講習会名 | 参加者数 |
|-------------------|----------------------------------|------|
| 5月1日、11日、14日 | 文献検索の基礎 | 30 |
| 5月18日、21日、23日、29日 | PubMed 入門 | 19 |
| 5月25日、28日 | 医中誌 Web 入門 | 15 |
| 6月14日 | EBM Reviews | 6 |
| 6月18日 | Web of Science, JCR, EndNote Web | 7 |
| 7月23日 | CINAHL | 21 |

●資源植物科学研究所分館

資源植物科学研究所分館では、平成24年4月にオリエンテーションを、6月にデータベース講習会を開催しました。

オリエンテーション

| 実施日 | 対象 | 参加者数 |
|-------|---------------|------|
| 4月9日 | 環境生命科学研究所科新入生 | 6 |
| 4月23日 | 農学部新入生 | 120 |

データベース講習会

| 実施日 | 講習会名 | 参加者数 |
|-------|-----------------------------|------|
| 6月19日 | Web of Science, EndNote Web | 14 |

サイレントスペース試行（中央図書館）

中央図書館では本館2階閲覧室北西の机6席と新館1～4階閲覧室北西の机各4席をサイレントスペースとして試行しております。サイレントスペースにあたる席には右のようなサインを貼っています。そこでは、パソコン、電卓の使用をご遠慮ください。



平成24年度「池田家文庫 子ども向け岡山後楽園発見ワークショップ」(夏) 実施報告

平成24年7月7日(土)に岡山大学教育学部と附属図書館の共催による「池田家文庫子ども向け岡山後楽園発見ワークショップ」(平成24年度夏)を開催しました。今年度は財団法人福武教育文化振興財団平成24年度文化活動助成対象となっています。通算第12回目となる今回は前日の豪雨の影響で足元が悪く生憎の曇り空でしたが、参加者15名(同伴者と合わせて32名)が巨大複製絵図を使ったクイズや、紙芝居、後楽園の散策を楽しみました。

今年度は平成25年3月3日(日)に第2回目の開催を予定しています。

資源植物科学研究所分館第六回貴重書企画展示「おいしいしょくぶつ」実施報告

平成24年3月1日(木)～5月12日(土)の期間に開催された企画展示「おいしいしょくぶつ」は、154名の方々の来館を得、好評のうちに会期を終えました。皆さまありがとうございました。第七回の企画展示もよろしくお願いいたします。

中央図書館ミニ展示

中央図書館ではミニ展示を行っています。館内でミニ展示を見かけた際は、ぜひ手にとってみてください。平成24年4月から現在まで、ミニ展示を以下のテーマで本館1階新館入口近くにて行いました。

- 4月「岡山を読む」
- 5月「論文・レポートの書き方」
- 6月「『古事記』を知る」
- 7月「iPad 関連資料」



5月「論文・レポートの書き方」ミニ展示

教員からの寄贈図書リスト

次の方々から著書をご寄贈いただきました。ありがとうございました。

<中央図書館>

今津勝紀 [社会文化科学研究科]

日本古代の税制と社会——塙書房, 2012.7 (210.3/I)

歴史遺産の保全と活用をめぐる地域ネットワークに関する研究——辻星児, 2009.9 (F709.1/R)

岡 隆夫 [名誉教授]

岡隆夫全詩集——和光出版, 2012.1 (911.56/O)

倉地克直 [社会文化科学研究科]

池田光政：学問者として仁政行もなく候へば——ミネルヴァ書房, 2012.5 (289.1/I)

下定雅弘 [社会文化科学研究科]

那波本白氏文集：宮内庁所蔵——勉誠出版, 2012.2 (921.43/H)

姜 克実 [社会文化科学研究科]

辛亥革命と日本——藤原書店, 2011.11 (222.071/S)

田熊文雄 [社会文化科学研究科]

近代ドイツの国制と市民：地域・コルポラツィオンと集権国家 増補版——御茶の水書房, 2006.8 (234.06/T)

葛尾和宏 [教育学研究科]
『古事談』を読み解く——笠間書院, 2008.7 (913.47/K)

藤内和公 [社会文化科学研究科]
同和行政の法律問題——部落問題研究所, 2004.7 (361.86/H)

藤井和佐 [社会文化科学研究科]
社会調査報告書：白石島——辻星児, 2009.3 (F361.9/S)

〈鹿田分館〉

仲井雪絵 [医歯薬学総合研究科]
ラクに楽しく！マイナス1歳からはじめるむし歯予防：ママになる前からできること
——オーラルケア, 2012.6 (497.9/NA)

岡山大学出版会からの寄贈図書リスト

安藤美華代 [教育学研究科]
自己理解を深め人間関係を育む心理教育”サクセスフル・セルフ”
：大学生用ワークブック——岡山大学出版会, 2012.3 (F371.4/A)
児童生徒のいじめ・うつを予防する心理教育”サクセスフル・セルフ”
——岡山大学出版会, 2012.3 (F371.4/A)

市川康明 [環境生命科学研究科], 木本和志 [環境生命科学研究科]
ニュートン力学と変形体：構造力学入門——岡山大学出版会, 2012.3 (501.34/I)

多屋頼典 [名誉教授]
心理学入門——岡山大学出版会, 2012.3 (140/T)

松田陽一 [社会文化科学研究科], 藤井大児 [社会文化科学研究科],
犬塚 篤 [社会文化科学研究科]
リーディングス組織経営——岡山大学出版会, 2012.3 (336.3/R)

山根延元 [自然科学研究科]
工学系の線形代数——岡山大学出版会, 2012.3 (411.3/K)

(敬称略五十音順)

会議

◆学外

- 24.2.28 ジャパンリンクセンター対応に関する検討会
(於 国立情報学研究所)
- 24.4.19 第60回中国四国地区大学図書館協議会総会
(於 広島大学)
- 24.4.20 第39回国立大学図書館協会中国四国地区協会
総会 (於 広島大学)
- 24.5.11 平成24年度目録システム/ILLシステム講習会
担当者説明会 (於: 国立情報学研究所)
- 24.5.18 平成24年度国立大学図書館協会理事会
(於 東京大学)
- 24.5.23~25 NPO 日本医学図書館協会 第83回通常
総会 (於 日本科学未来館)
- 24.6.1 岡山県大学図書館協議会総会
(於 新見公立大学)
- 24.6.21~22 第59回国立大学図書館協会総会マネジメ
ントセミナー
(於 ANA クラウンプラザホテル)
- 24.9.25 平成24年度国立大学図書館協会中国四国地区
事業委員会合同連絡会議 (於 広島大学)

◆学内

- 24.5.11 平成24年度第1回 附属図書館運営委員会
- 24.5.14 平成24年度資源植物科学研究所分館第1回
図書委員会
- 24.6.26 平成24年度第1回附属図書館運営委員会
鹿田分館分科会
- 24.7.4 平成24年度第2回 附属図書館運営委員会
- 24.7.25 平成24年度資源植物科学研究所分館第1回
分科会、第2回図書委員会

研修

- メンタルヘルス クライシスマネジメント研修
参加者 神崎 浩、富田 健市、大元 利彦、
山根 博 (24.3.8)
- 部局長等合宿セッション
参加者 神崎 浩、富田 健市 (3.17-18)
- 平成24年度岡山大学事務系新任職員研修
参加者 岩佐 美紀 (4.11-13)
- 新任管理職員研修
参加者 谷垣 静子 (5.10)
- 平成24年度安全衛生集中講習会
参加者 富田 健市、大元 利彦、山根 博、
山本 聰之、山田 智美、遠矢 厚志、
藤原 智孝、川上 研三、難波 麻紀、
森谷 めぐみ (5.22-24、28、6.6)
- 平成24年度CSI委託事業報告交流会
参加者 神崎 浩、田中 智 (6.12-13)
- Open Repositories 2012
参加者 大園 隼彦 (7.7-15)
- 岡山大学プレゼンテーション研修
参加者 山田 智美、遠矢 厚志 (7.20-23)
- 情報教育研修
参加者 犬飼 恵美子、川上 研三、西村 朋子、
浪花 悠夏子 (8.1-30のうち2日)
- 平成24年度学術ポータル担当者研修
参加者 田中 智 (8.22-24)
- 目録システム地域講習会 (図書コース)
参加者 横部 良二
講師 山田 智美、大園 隼彦 (8.29-31)
- 平成24年度第2回機関リポジトリ新任担当者研修
参加者 田中 智 (9.6-7)
- 公的研究費に係るコンプライアンス研修
参加者 難波 麻紀、久磨 由美子、浪花 悠夏子、
石原 美代子、竹下 啓行、片山 麻衣子、
井並 美奈子、山本 聰之、犬飼 美恵子、
新美 沙織、山崎 康子、藤原 智孝
(9.11、13、19、20、26)

編集委員会から

今号では iPad に関する記事がいくつか見られます。新しく便利なツールがしだいに私たちの生活に溶けこんできているのでしょうか？ わくわくできる本との出会いが、広がることを願っています。いろいろな形での読書の秋をお楽しみください。(M.M.)

岡山大学附属図書館報「楷」 No.55 平成24年10月1日

発行人 富田健市 編集 広報誌編集委員会

岡山大学附属図書館発行 〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1-1 電話 086-252-1111

ホームページ URL <http://www.lib.okayama-u.ac.jp/>